（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービスURAURA八野

公表日 令和7年2月25日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	62%	38%	デイルームや新建屋の日中活動室を活用している	URAURAの部屋のみでは運動スペースが不足しますので小グループ活動で場所を分けてスペース確保します
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	62%	38%	専門職にも活動を担当してもらうことがある	送迎の添乗については必要性の高い便には配置します。排泄介助時等でも必要人数は職員が部屋に残れるよう連携をしていきます
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	62%	38%	ものの置き場所を決め写真などで示したり、支援に必要の無いものはしまい込むようにしている	出入口のドアが狭いことについては車椅子の児童については正面玄関も活用します
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	毎回掃除、消毒をしている 児童自身で個別活動や玩具等を選択できるよう配置している	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	新建屋の日中活動室の活用し静かな空間で宿題などしてもらっている	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	月2回業務改善ミーティング実施している	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	支援内容や活動内容に活かしている	定期的に実施し、保護者ニーズや事業所改善につなげていく
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	定期的会議等、機会を設けている 今年度は、業務改善の担当者を決め月2回の話し合いをし問題解決をしている 意見を用紙に書いて提出し話し合っている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	50%	50%		法人全体で第三者評価について進めていく
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを更新し支援につなげている	アセスメントを継続して実施し、児童への気づきを職員間で共有していく
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	毎月会議にて行っている	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	100%	0%	児童一人ひとりの様子・行動などの意見を共有し、支援方法の話し合いをしている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	アセスメントシートを使用している	標準化されたものを利用することで比較し対応方法などを探し出していく
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%		

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	毎月のミーティング内等で行っている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	88%	12%	毎月、１週間のテーマを決めたイベントウィークを実施している 季節行事や利用者ニーズに応じて計画している 今年度はスヌーズレンの新機能を使った活動に取り組みました	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	集団活動を中心にし、その前後の時間を個別活動としている	小グループでの活動を増やし、集団活動よりもこどもの状況に応じた活動の機会を増やしていく
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	前日の支援の振り返りを朝礼にて行い当日の支援に活かしている 活動担当が当日の動きを説明し確認している	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	88%	12%	日誌に支援での気づきを記入し、翌日の朝礼でも振り返りを行っている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	88%	12%	記録したものを朝礼時に振り返り改善につなげている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	会議を行いモニタリングを行っている	定期的なモニタリングを実施し、遅れのないようにしていきます
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	100%	0%		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	自己選択しやすい物の配置をしているしたい活動等を選ぶ用のボードや絵カードを活用している	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	他職員からの聞き取りも行った上で代表者が会議に参画している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	62%	38%	地域の医院に協力医療機関として受け持っていただいている	主治医は各家庭で異なるので家族を通して連携していきます
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	送迎時の情報交換をしている 不明なことがあれば学校に連絡して対応してもらうようにしている	学校との情報共有はされているが、今後も連絡調整を行っていく
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	75%	25%	計画相談から必要な情報を得て情報共有している	就学前のサービス担当者会議等参加できる場面には参加して情報共有していきます
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	75%	25%	必要な情報については提供している	事業所から問い合わせがあった場合、ご家族の了解を得られることを条件として情報共有ができるようにしていく
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	62%	38%		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	25%	75%	地域のグラウンドゴルフ大会参加している 福祉の森まつりを開催し地域のこどもにも来場いただいている	地域とつながりのある活動（地域のゴミ拾い等）を検討していく
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	75%	25%	協議会に参加している	自立支援協議会やくらし部会、児童分野についいても参加を継続し、職員へも水平展開する
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	LINEでの情報伝達と、連絡帳への記入で日々の様子を伝えている	送迎時、SNSでの情報発信や日々のやり取りの中で話しやすい関係作りをする
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	88%	12%		来年度は研修会等の情報発信ができるようにしていく

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	契約時や、問い合わせがあった際に説明を行っている	定期的な情報発信を行う中で、簡潔に丁寧に説明を実施する
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	100%	0%		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	88%	12%	職員内で話し合い、必要であれば計画相談にもつなげている	困りごとの聞き取りを行い事業所での様子をお伝えするなどできることを一緒に考えていく
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	62%	38%	保護者会を定期的に開催している	きょうだい同士で交流する機会については今後実施できるようにしていく
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	職員間で共有し対応を検討し、対策を保護者にも伝えている	苦情があった場合は、保護者からよく聞き取りをし職員間で原因究明、対応策について考え対策実施していく
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	毎月のミーティング内等で行っている、これまでの様子を紹介したものを配布している 行事の案内もLINEや紙面で行なっている	法人機関紙、事業所新聞を発行し活動の様子を伝え、SNSを活用しその日の様子を届けている
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	写真の掲載等については肖像権同意書にて了承いただいたうえで実施している	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	連絡帳以外にもLINEで写真や動画を送り視覚的にも伝えている	SNSで写真を送ることで伝わりやすくなっているがわかりにくい場合などは丁寧に話をしていく
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	100%	0%	福祉の森まつりにて地域住民にも来場いただいている	直接交流できる機会を徐々に増やせるよう検討していく
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	88%	12%	マニュアルについての変更があれば紙面で周知している	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	非常時に備え、様々な避難訓練を実施している	事業所単独や施設全体での避難訓練を継続していく
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	契約時に確認している 薬の変更があった場合、薬情報の確認をしている	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	アレルゲンを記入したものを保護者より提出していただき、栄養士と連携している おやつはアレルギー表示を確認している	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	75%	25%		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	75%	25%		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	より細やかなヒヤリハット事例をあげ支援や環境に配慮するようにしている	ヒヤリハットを会議で分析し共有する事例集としてつづっていく
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止に関する動画視聴研修を定期的に実施している	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%		

（別紙４）

公表　保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	放課後等デイサービスURAURA八野

公表日 2025年2月25日

利用児童数 23　　回収数 13

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	85%	15%			もう少し広いといいなーと思います。	小グループ活動実施を増やし、グループ毎に場所を分けることで１人あたりのスペースを広くしていきます。また、中庭に新設した建屋の日中活動スペースも活用することで、より改善できるようにしていきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	84%		8%	8%	送迎時職員さんが一人で運転していますがトラブルがあった時に1人では対処できないのでもう一人同乗しているといいと思います。	乗車時間が長時間にならないように細かく送迎の便を分けていますが、普段の様子と違う場合や必要性の高い場合などは添乗ありの送迎も行っていきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	100%				中に入る事がなく詳しい事は分からないが入口から見る場所や、写真は綺麗に整頓されています。	全館バリアフリーで部屋ごとに用途を分けています。絵カード等での視覚支援もしています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	92%			8%	物品も豊富にあり、楽しんでいる様子です。	物品については今後も児童のニーズに応じて随時購入していきます。清掃・消毒を毎日行っております。活動に合わせた空間作りを今後も行っていきます。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	92%			8%		日々の支援の振り返りや月に１度のケース会議で話し合いをしています。臨床心理士のアドバイスを受けるなどし、児童の理解に努めています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか 。	92%			8%		URAURA八野の児童の特性や、ニーズを踏まえたプログラムとなっています。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	92%			8%		今年度から５領域を踏まえた内容に変更しています。保護者様のニーズや児童に適した支援計画ができるように今後も取り組んでいきます。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	92%			8%		今年度からの支援計画の内容にいれております。より具体的な支援内容が設定できるよう取り組んでいきます。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	92%			8%		支援計画を一覧できるファイルを活用して、支援計画に沿った支援を行っています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	100%				自宅では体験、経験させてあげられない内容で親も楽しみにしています。	毎月の会議にて活動についての検討を今後も行い、様々な経験をしていただけるよう考えていきます。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	39%	15%	15%	31%		地域の催しや、児童館を利用をする機会を作り参加していきます。

保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%					契約時に一通りの説明はさせていただいています。わからないことがあれば、気軽に聞いていただけるようLINEや連絡帳を利用しています。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%					更新時に説明をさせていただいています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	92%			8%		来年度は研修会等の情報発信ができるようにしていきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	100%					送迎時等の情報交換や、LINEを活用し写真を添付するなどしています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	92%			8%		定期的にしていくようにします。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100%					今後も児童やご家族に寄り添った支援ができるように努力します。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	46%	15%	15%	23%	妹がうらうらの活動に興味津々なので感染症が落ち着いたころにまた、活動見学などしてもらえたら有難いです。	今年度はスヌーズレン体験会実施にてきょうだいの参加がありました。保護者会は2月に実施しました。来年度はきょうだい・家族も参加していただける運動会を予定しております。また、活動見学等も検討していきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	92%			8%		重要事項説明書にて相談係を明記しております。相談内容に適切に対応できるように努めていきます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	85%	8%		8%		連絡帳や、LINEを利用し写真を添付するなどしてわかりやすく情報伝達をしています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	92%			8%		自己評価については法人のHPで公表しております。法人の機関紙や月１度の通信（きらっと）等の発行も行っています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	92%			8%		写真の掲載等については肖像権同意書にて了承いただいたうえで実施しています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	85%			15%		策定したマニュアルの内、保護者様へは関係する部分を「お知らせ文」として配布しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	69%	8%		23%		活動内の避難訓練や併設事業所と合同での避難訓練も実施しています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	85%			15%		安全計画に基づき支援実施しています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	85%			15%		怪我や発作等の場合は、すぐにご連絡し対応しています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	92%	8%			たぶん（そう思っている）	安心して楽しく通っていただけるよう日々改善を図っていきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	92%			8%	・「うらうらさん行く」と言っています。お出かけの時には特に嬉しそうな表情をしています。 ・たぶん（そう思っている） ・活動内容をよく記憶してお話してくれます。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	100%				・体調に合わせて出来る範囲でいろいろな体験をさせていただけるのがうれしいです。（持病があるので親だけでの外出がなかなか難しく社会体験をする機会がどうしても普段少なくなってしまうので） ・今後ともよろしくお願いいたします。	今後も安心して通っていただける事業所を目指します。

（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスURAURA八野			
○保護者評価実施期間	令和7年1月14日		～	令和7年1月27日
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	23	（回答者数）	13
○従業者評価実施期間	令和7年1月27日		～	令和7年1月31日
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	8	（回答者数）	8
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月21日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門職活動など幅広い支援が提供できていること	５領域への支援に専門職による活動を取り組み （個々の利用者様ニーズに応じた取り組み）	支援プログラムや放課後等デイサービス計画に沿った活動を実施しながら、説明をしてよりわかりやすくご理解していただく取り組み
2	保護者様との交流する機会が多いこと	ＬＩＮＥや新聞などを活用し、普段の様子をより多くお伝えする取り組み	定期的な保護者様との交流をすることにより、保護者様の悩みや不安を解消していく取り組み
3	活動プログラムが充実していること	季節行事や毎月テーマを決めたウィークイベントの実施をしている スヌーズレンを活用した活動を取り入れている	法人内の事業所で行っている良い活動については水平展開し取り入れる

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域のこどもたちとの活動の機会が少ない	家族も強くは望んでいない	活動で地域のゴミ拾いをし、地域の方との交流をしていく
2	現場職員に実務に直結する研修の機会が少ない	研修参加者に偏りがある	担当者だけでなく、全職員が発達障害に対しての理解を深められるよう研修計画を立てていく

（別添資料１）

事業所名　放課後等デイサービス　ＵＲＡＵＲＡ八野

支援プログラム（参考様式）

作成日　令和7　年　2　月　14　日

法人（事業所）理念		親亡き後の「一生涯支援」の実現及び利用者の潜在能力を最大限に発揮できる「自己実現」（達成感）の実施			
支援方針		特別支援学校や特別支援学級に通われているお子様の将来の自立に向けた支援をいたします。経験豊富なスタッフが一人ひとりの特性に合わせた支援を行います。日々の支援を通して、お子様たちの“気づき”や成長をご家族と共有していきます。お子様たちに寄り添い、のびのび過ごせる環境を作ります。			
営業時間		10 時　30 分から　19 時　00 分まで		送迎実施の有無	(あり)　なし
		支　援　内　容			
本人支援	健康・生活	バイタルチェック（来所時の検温・視診） スケジュールを活用し一日の流れを見通す（視覚支援での身辺自立の習慣化） 小集団活動 理学療法士によるリハビリ（希望者）			
	運動・感覚	身体機能維持・向上（中庭での運動、サーキット運動　ラジオ体操　ダンス　PTによる体操　自転車エルゴメーター） 感覚あそび　（スヌーズレンルームでのハンモック体験　バランスボール）			
	認知・行動	見通しを持てるような視覚支援（スケジュール　絵カード　環境設定） 指先を使った個別課題　好きな活動の選択			
	言語 コミュニケーション	コミュケーション手段の獲得（絵カードを使った支援　相互理解しているジェスチャー　ペクスの使用） はじまりの会での発表による発声、発語			
	人間関係 社会性	生活、遊び、活動内でのやりとり（対大人から児童同士へつなげる） 就労前の利用者に対してのＳＳＴ(ソーシャルスキルトレーニング)			
家族支援		児童の様子を共有し家族からの相談に対しての助言等 希望者への臨床心理士による発達検査の実施及び助言等 希望者への法人のST（言語聴覚士）による評価及び助言等		移行支援	移行先との支援内容等の共有・支援方法の伝達 進路について必要に応じて情報提供 地域住民と交流行事（福祉の森まつり、八野町グラウンドゴルフ大会）
地域支援・地域連携		学校との情報共有 サービス担当者会議での支援の方向性の統一 ショートステイの希望があれば情報提供		職員の質の向上	外部研修 介護技術研修
主な行事等		毎月、1週間をイベントウィークとし、季節や行事を体験（ハロウィン、クリスマス等）　福祉の森まつり　施設合同運動会　八野町グラウンドゴルフ大会 日帰り旅行（年1回）　就労体験			